

令和5年度4月入学

九州大学大学院 人間環境学府
修士課程(冬季募集)

学生募集要項

一般選抜	1～7頁
社会人特別選抜	8～12頁
外国人留学生特別選抜	13～18頁
各選抜共通	19～23頁
願書等様式	24頁以降

新型コロナウイルス感染症に関する状況に応じて、やむを得ず、選抜方法等を変更する可能性があります。選抜方法等に関する最新情報について本学府のホームページ上で随時発信いたしますので、出願の際には必ず最新の情報をご確認ください。

令和5年度4月入学 九州大学大学院 人間環境学府 修士課程(一般選抜・冬季募集) 学生募集要項

1. 募集専攻及び募集人員

専攻	コース	募集人員 ※1
都市共生デザイン専攻 ※2 ※3	アーバンデザイン学コース	20名
	都市災害管理学コース	
	持続都市建築システム国際コース	別途募集
人間共生システム専攻	臨床心理学指導・研究コース ※4※5	11名
	共生社会学コース	
行動システム専攻	心理学コース	17名
	健康・スポーツ科学コース	
教育システム専攻	現代教育実践システムコース	19名
	総合人間形成システムコース	
空間システム専攻 ※3	建築計画学コース	28名
	建築環境学コース	
	建築構造学コース	
	持続都市建築システム国際コース	別途募集

※1 募集人員は夏季・冬季をとおした人数とする。この中には、社会人特別選抜と外国人留学生特別選抜の定員を含む。

※2 令和5年度冬季募集において、都市共生デザイン専攻修士課程に関しては、社会人や異分野などから実践業績又は研究業績を有する人材を幅広く受け入れる。

※3 令和5年度冬季募集において、都市共生デザイン専攻修士課程及び空間システム専攻修士課程に関しては、「持続都市建築システムプログラム」を履修する人材を積極的に受け入れる。プログラムの内容は専攻事務に問い合わせること。

※4 臨床心理学指導・研究コースは、「臨床心理士」受験資格に関する第1種指定を受けている。

※5 大学(学部)等において必要な科目を修めて卒業した者は、臨床心理学指導・研究コースにおいて必要な科目を修めて修了することで「公認心理師」の受験資格が得られる。

※6 専門職学位課程実践臨床心理学専攻については、別途募集を行う。

2. 出願資格

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に規定する大学を卒業した者及び令和5年3月末までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び令和5年3月末までに授与される見込みの者〔大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び授与される見込みの者〕
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月末までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月末までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び令和5年3月末までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和5年3月末までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和5年3月末までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本学府において、本学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの

- (10) 本学府において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和5年3月31日までに22歳に達するもの
- (11) 令和5年3月末までに次のいずれかに該当する者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと本学府が認めたもの
- ① 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者
 - ② 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - ④ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者

※ 出願資格審査

上記(9)、(10)、(11)のいずれかに該当する者は、個別の出願資格審査を行うので、予め人文社会科学系事務部学務課(人間環境学府担当)へ申し出て、次の書類を11月24日(木)までに人文社会科学系事務部学務課(人間環境学府担当)宛提出すること。なお、資格審査の結果は12月5日(月)に本人あて発送する。

(イ) 出願資格審査申請書	本学府所定の様式
(ロ) 入学願書・履歴書	本学府所定の様式
(ハ) 成績証明書	最終学校のもの
(ニ) 卒業(見込)証明書	最終学校のもの
(ホ) 追加出願書類	コース指定のもの

3. 願書受付期間

令和4年12月21日(水)から令和4年12月28日(水)午後5時まで
(土日祝日は受け付けない。なお、郵送の場合も12月28日(水)午後5時までに必着すること。)

※以下の専攻・コースへの出願者は、あらかじめ指導を希望する教員と相談の上、出願すること。

- ・都市共生デザイン専攻
- ・人間共生システム専攻 臨床心理学指導・研究コース
- ・人間共生システム専攻 共生社会学コース
- ・行動システム専攻 健康・スポーツ科学コース
- ・教育システム専攻 (相談を推奨)
- ・空間システム専攻

4. 出願書類

志願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に九州大学人文社会科学系事務部学務課(人間環境学府担当)宛提出すること。

※書類は全て原本を提出すること。(TOEIC、TOEFLの原本は確認後に返却する。)

<専攻・コース共通>

- (1) 入学願書、履歴書及び受験票・照合票(本学府所定の様式を使用すること。なお、入学願書及び照合票貼付用写真は出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽のものを使用すること。)
- (2) 最終学校の成績証明書及び卒業(見込)証明書
- (3) 学士の学位授与証明書又は学士の学位授与申請予定証明書(出願資格(2)又は(6)に該当する者のみ提出すること。)
- (4) 入学検定料 30,000円(19頁「入学検定料の支払いについて」参照)
 - ・日本政府(文部科学省)国費留学生は不要。出願の際、必ず国費留学生証明書を同封すること(本学在学中の国費留学生は不要)。
 - ・出願書類受理後の検定料の払い戻しはできない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については返還を行う。
- (5) 受験票返送用封筒 1通
宛名、住所等を明記した返信用封筒(長形3号(12センチ×23.5センチ))に郵便切手354円(速達)を貼付すること。
- (6) 住所票 本学府所定の様式に志願者の志望専攻・コース、住所、氏名を記入すること。

専攻	コース	追加出願書類
都市共生デザイン専攻	アーバンデザイン学コース	<p>TOEICまたはTOEFLの成績証明書 ※1</p> <ul style="list-style-type: none"> 出願締切日から遡って2年以内(2020年12月29日以降)に受験したもの。 <p>研究計画書(本学府所定の様式を使用し、3,000字以内とする。心理学領域志願者のみ提出) 本学府修士課程入学後の研究計画について提出すること。</p> <p>卒業論文又はその梗概</p> <p>卒業論文がない場合はこの限りではない。又、卒業論文以外の研究業績がある者は、その論文等を併せて提出することができる。</p>
	都市災害管理学コース	
人間共生システム専攻	臨床心理学指導・研究コース	<p>TOEICまたはTOEFLの成績証明書 ※1</p> <ul style="list-style-type: none"> 出願締切日から遡って2年以内(2020年12月29日以降)に受験したもの。 <p>論文</p> <ol style="list-style-type: none"> 卒業論文又はその写しを提出すること。 なお、卒業論文がない場合はこの限りではない。 ①以外の研究業績のある者は、その論文等を併せて提出すること。 なお、この場合の論文等は志望専攻に関する内容のものであること。 <p>研究経過報告書(本学府所定の様式を使用し、2,000字以内とする。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 卒業論文を作成した者は卒業論文の概要及び現在進めている研究があれば、その概要と経過についても併せて提出すること。 卒業論文がない場合は在学中の研究及び現在進めている研究の概要と経過について提出すること。 <p>志望理由・研究計画書(本学府所定の様式を使用し、3,000字以内とする。)</p> <p>本コースへの志望理由及び入学後の研究計画について提出すること。</p>
	共生社会学コース	<p>TOEIC(Listening & Reading Test, L&R)またはTOEFLの成績証明書</p> <ul style="list-style-type: none"> 出願締切日から遡って2年以内(2020年12月29日以降)に受験したもの。 TOEIC(L&R)-IP及びTOEFL-ITP等の団体特別受験制度による成績証明書も利用できる。 <p>論文</p> <ol style="list-style-type: none"> 卒業論文又はその写しを提出すること。 なお、卒業論文がない場合には、志望専攻に関する内容の論文(10,000字程度)を提出すること。 ①以外の研究業績のある者は、その論文等を併せて提出することができる。 なお、この場合の論文等は志望専攻に関する内容のものであること。
行動システム専攻	心理学コース	<p>TOEIC(Listening & Reading Test, L&R) またはTOEFLの成績証明書(心理学コース志願者のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 出願締切日から遡って2年以内(2020年12月29日以降)に受験したもの。 TOEIC(L&R)-IP及びTOEFL-ITP等の団体特別受験制度による成績証明書も利用できる。
	健康・スポーツ科学コース※	<p>研究経過報告書(本学府所定の様式を使用し、2,000字以内とする。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 卒業論文を作成した者は卒業論文の概要及び現在進めている研究があれば、その概要と経過についても併せて提出すること。 卒業論文がない場合は在学中の研究及び現在進めている研究の概要と経過について提出すること。 <p>研究計画書(本学府所定の様式を使用し、3,000字以内とする。)</p> <p>本学府修士課程入学後の研究計画について提出すること。</p> <p>論文</p> <ol style="list-style-type: none"> 卒業論文又はその写しを提出すること。 なお、卒業論文がない場合はこの限りではない。 ①以外の研究業績のある者は、その論文等を併せて提出すること。 なお、この場合の論文等は志望専攻に関する内容のものであること。 <p>※健康・スポーツ科学コース志願者は論文①の提出は不要。また、論文②に該当する研究実績がある者は、その論文を提出することができる。</p>

教 育 システ ム 専 攻	現代教育実践システムコース	TOEIC(Listening & Reading Test, L&R)またはTOEFLの成績証明書 ・ 出願締切日から遡って2年以内(2020年12月29日以降)に受験したもの。 ・ TOEIC(L&R)-IP及びTOEFL-ITP等の団体特別受験制度による成績証明書も利用できる。 研究経過報告書 (本学府所定の様式を使用し、日本語の場合は2,000字以内、英語の場合は1,000語以内とする。) ① 卒業論文を作成した者は卒業論文の概要及び現在進めている研究があれば、その概要と経過についても併せて提出すること。 ② 卒業論文がない場合は在学中の研究及び現在進めている研究の概要と経過について提出すること。 研究計画書 (本学府所定の様式を使用し、3,000字以内、英語の場合は1,500語以内とする。) 本学府修士課程に入学後の研究計画について提出すること。 論文 ① 卒業論文又はその写しを提出すること。 なお、卒業論文がない場合はこの限りではない。 ② ①以外の研究業績のある者は、その論文を併せて提出することができる。 なお、この場合の論文は志望専攻に関する内容のものであること。 ※新型コロナウイルス感染症に関する状況により、出願書類を全てPDFで提出を求められることがあるので準備しておくこと。
	総合人間形成システムコース	
空 間 システ ム 専 攻	建築計画学コース	TOEICまたはTOEFLの成績証明書 ※1 ・ 出願締切日から遡って2年以内(2020年12月29日以降)に受験したもの。 研究計画書 (本学府所定の様式を使用し、3,000字以内とする) 本学府修士課程入学後の研究計画について提出すること。 卒業論文又はその梗概 卒業論文がない場合はこの限りではない。又、卒業論文以外の研究業績がある者は、その論文等を併せて提出することができる。
	建築環境学コース	
	建築構造学コース	

※1 都市共生デザイン専攻、空間システム専攻、人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コースの英語資格試験(TOEIC、TOEFL)について

TOEIC公開テスト(TOEIC Listening & Reading Test)、TOEFL-iBTのいずれかを事前に受験しておくこと。

- ・成績証明書とは、TOEICのOfficial Score Certificate(公式認定証)、TOEFLのOfficial Score Report(公式スコアレポート)を指す。
- ・成績証明書は、顔写真付きのものとする。
- ・以下のスコアは認められない。

TOEIC IP、カレッジTOEIC、TOEFL ITPなどの団体受験制度によるもの

TOEIC Speaking & Writing Test、TOEIC Speaking Test、TOEIC Writing Test、TOEIC Bridge Testによるもの

5. 入学考査方法

入学者の選抜は、学力試験と出願書類等を総合して判定する。

- (1) 学力試験は、筆記試験及び口述試験によって行う。筆記試験は、外国語科目及び専門科目について行う。
ただし、空間システム専攻については、書類審査と口述試験とし、筆記試験は行わない。

- (2) 筆記試験科目

専 攻	コ ー ス	試 験 科 目	
		外 国 語	専 門 科 目
都市共生 デザイン 専 攻	アーバンデザイン学コース	英語 ※1	小論文(アーバンデザイン学)
	都市災害管理学コース		小論文(都市災害管理学)
人間共生 システム 専 攻	臨床心理学指導・研究コース	英語 ※1	臨床心理学、心理学及び臨床心理学研究法に関する専門科目
	共生社会学コース	英語※1	社会学、文化人類学、比較宗教学のうちから1科目を出願時に選択

行動システム専攻	心理学コース	英語 ※1	行わない
	健康・スポーツ科学コース	英語	(1) 健康・スポーツ科学コース共通科目 (2) 選択科目(運動・スポーツ心理学系、スポーツ文化・社会学系、運動生理・生化学系、運動疫学・処方系のうち1科目を出願時に選択)
教育システム専攻	現代教育実践システムコース	英語 ※1	(1) 教育学に関する共通科目 (2) 専門科目(教育行政学、教育工学(教授ストラテジー論)、教育工学(学習環境デザイン論・協調学習論)、教育方法学、社会教育学、教育デザイン論、教育環境学、教育動態論、教育共生論から1科目を出願時に選択)
	総合人間形成システムコース		(1) 教育学に関する共通科目 (2) 専門科目 (比較教育学(比較国際教育学)、比較教育学(比較教育制度論)、比較教育学(比較教育文化論)、教育哲学、教育社会史、教育文化史、教育社会学、異文化間教育論から1科目を出願時に選択)
空間システム専攻	建築計画学コース	英語 ※1	行わない
	建築環境学コース		
	建築構造学コース		

※1 都市共生デザイン専攻、人間共生システム専攻、行動システム専攻心理学コース、教育システム専攻および空間システム専攻については、英語はTOEICまたはTOEFLの得点で成績評価を行う。

(3)口述試験

提出された論文等の出願書類及び専攻の分野等について行う。

※ 都市共生デザイン専攻、空間システム専攻、人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コース、行動システム専攻心理学コース及び教育システム専攻については以下のとおりとする。

・都市共生デザイン専攻、空間システム専攻

ア. これまでの研究内容及び今後の研究計画に関する資料を、A4用紙4枚以内で作成し、口述試験当日に持参すること。

なお、都市共生デザイン専攻では10部、空間システム専攻では11部を準備すること。

イ. 口述試験の説明においては、既設のパソコン(OS:Windows)および液晶プロジェクターを使用することも可能である。

ただし、パソコンの利用にあたっては説明用のパワーポイントのデータをCD-RまたはUSBフラッシュメモリーにコピーし持参すること。あるいは、各自のノートパソコンを持参しても構わない。

・人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コース

ア. 研究経過及び研究計画に関する説明資料を、A4用紙3枚以内で10部準備し、全ての資料に受験番号と氏名を記して口述試験当日に持参すること。この説明資料は追加出願書類の研究経過報告書、志望理由・研究計画書等の単なる補足資料ではない。これによって、研究経過、志望理由・研究計画の全貌がわかるようにすること。また、この資料も審査の対象となるのでそのことに留意して作成すること。

イ. 口述試験の受験資格者数は、定員の約3倍までとする。

ウ. 口述試験の受験資格者については、筆記試験当日(2月4日(土)午後7時頃)に本学のホームページに掲載する。また、口述試験当日(2月5日(日)午前8時半頃)に人文社会科学系合同掲示板(イースト1号館前)に掲示する。

・行動システム専攻心理学コース

ア. 追加出願書類にもとづく審査を行ったうえで、その内容についての質疑応答を面接形式で行う。

志願者は、これまでの研究が高い意義を持つことを的確な自己評価のもとに論じ、今後の研究への明確な展望を提示しなくてはならない。書類審査及び口述での応答と今後の研究の展望について、主に審査する。

イ. 研究経過及び研究計画に関する説明資料を、A4用紙4枚以内で12部準備し口述試験当日に持参すること。この説明資料は追加出願書類の研究経過報告書、研究計画書等の単なる補足資料ではない。これによって、研究経過、研究計画の全貌がわかるようにすること。また、この資料も審査の対象となるので、そのことに留意して作成すること。

ウ. 研究経過及び研究計画の説明においては、既設のパソコン(OS:Windows)および液晶プロジェクターを使用することも可能である。ただし、パソコンの利用にあたっては説明用のパワーポイントのデータをUSBフラッシュメモリーにコピーし持参すること。

・教育システム専攻

ア. 研究経過報告書、研究計画書にもとづいて行う。必ず持参すること。

イ. 口述試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後30分以内に限り、受験を認める。

6. 試験日時及び試験場

7頁「入学考査日程(一般選抜)」を参照すること。

7. 合格者発表

合格者の受験番号を、令和5年2月13日(月)午前10時に【人文社会科学系合同掲示板(イースト1号館前)】に掲示するとともに、合格者については合格通知書を本人宛発送する。

また、本学府のホームページにも同日午前11時頃から合格者の受験番号を掲載する。

URL:<http://www.hues.kyushu-u.ac.jp/>

なお、電話等による照会には一切応じない。

入学考査日程（一般選抜）

都市共生デザイン専攻

試験科目	実施日	試験時間	試験場
筆記試験(専門科目)	令和5年2月4日(土)	9:30～12:30	九州大学伊都キャンパスイーストゾーン
口述試験		13:00～	

人間共生システム専攻(臨床心理学指導・研究コース)

試験科目	実施日	試験時間	試験場
筆記試験(専門科目)	令和5年2月4日(土)	9:30～11:30	九州大学伊都キャンパスイーストゾーン
口述試験	令和5年2月5日(日)	9:00～ ※1	九州大学伊都キャンパスイーストゾーン

※1 口述試験は16時頃までかかる場合がある。

人間共生システム専攻(共生社会学コース)

試験科目	実施日	試験時間	試験場
試験(専門科目)	令和5年2月4日(土)	9:30～11:30	九州大学伊都キャンパスイーストゾーン
口述試験		13:00～	

行動システム専攻(心理学コース)

試験科目	実施日	試験時間	試験場
口述試験	令和5年2月4日(土)	10:00～	九州大学伊都キャンパスイーストゾーン

※1 新型コロナウイルス感染症に関する状況に応じて、オンライン実施に変更する可能性がある。

行動システム専攻(健康・スポーツ科学コース)

試験科目	実施日	試験時間	試験場
筆記試験(外国語)	令和5年2月4日(土)	9:30～11:30	九州大学伊都キャンパスイーストゾーン
筆記試験(専門科目)		12:30～15:00※2	
口述試験	令和5年2月5日(日)	9:30～	

※2 専門科目の試験は、選択科目 12:30～13:30、共通科目 14:00～15:00とする。なお、試験と試験の合間は休憩時間とする。

教育システム専攻

試験科目	実施日	試験時間	試験場
筆記試験(専門科目)	令和5年2月4日(土)	9:30～12:00	九州大学伊都キャンパスイーストゾーン
口述試験	令和5年2月5日(日)	9:30～	

空間システム専攻

試験科目	実施日	試験時間	試験場
口述試験	令和5年2月4日(土)	13:00～	九州大学伊都キャンパスイーストゾーン

令和5年度4月入学 九州大学大学院 人間環境学府 修士課程(社会人特別選抜・冬季募集)学生募集要項

1. 募集専攻及び募集人員

専攻	コース	募集人員
都市共生デザイン専攻 ※1 ※2	アーバンデザイン学コース	若干名
	都市災害管理学コース	
	持続都市建築システム国際コース	募集しない
人間共生システム専攻	臨床心理学指導・研究コース ※3 ※4	若干名
	共生社会学コース	募集しない
行動システム専攻	心理学コース	募集しない
	健康・スポーツ科学コース	若干名
教育システム専攻	現代教育実践システムコース	若干名
	総合人間形成システムコース	募集しない
空間システム専攻 ※2	建築計画学コース	若干名
	建築環境学コース	
	建築構造学コース	
	持続都市建築システム国際コース	募集しない

※1 令和5年度冬季募集において、都市共生デザイン専攻修士課程に関しては、社会人や異分野などから実践業績又は研究業績を有する人材を幅広く受け入れる。

※2 令和5年度冬季募集において、都市共生デザイン専攻修士課程及び空間システム専攻修士課程に関しては、「持続都市建築システムプログラム」を履修する人材を積極的に受け入れる。プログラムの内容は専攻事務に問い合わせること。

※3 臨床心理学指導・研究コースは、「臨床心理士」受験資格に関する第1種指定を受けている。

※4 大学(学部)等において必要な科目を修めて卒業した者は、臨床心理学指導・研究コースにおいて必要な科目を修めて修了することで「公認心理師」の受験資格が得られる。

2. 出願資格

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に規定する大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104第4項の規定により学士の学位を授与された者〔大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者〕
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本学府において、本学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本学府において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5年3月31日までに22歳に達するもの

<専攻・コース別>

都市共生デザイン専攻及び空間システム専攻を受験する者については、上記(1)～(10)のいずれか一つの資格に加えてさらに出願時において大学卒業後2年以上経過している者。ただし、外国人留学生を除く。

人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コースを受験する者については、上記(1)～(10)のいずれか一つの資格に加えてさらに卒業後3年以上の心理臨床経験を有し、現在、心理臨床に携わる社会人(在職可)もしくは、医療・保健、福祉、教育、司法・矯正、産業・労働における対人援助の専門的業務に3年以上従事した経験を有する者で、さらに高度の専門能力を養おうとする者。なお、「心理臨床経験の3年」とは、常勤の従事者としての3年である。ただし、「常勤の従事者」とは、週3日以上勤務する者をいう。週2日以下の者は非常勤の従事者として常勤者の5割として換算し、その期間が3年を満たすものである。

行動システム専攻健康・スポーツ科学コースを受験する者については、上記(1)～(10)のいずれかの一つの資格に加えてさらに出願時において大学卒業後1年以上の関連分野での活動歴を有すること。

教育システム専攻現代教育実践システムコースを受験する者については、上記(1)～(10)のいずれか一つの資格に加えてさらに出願時に教育に関する社会的活動あるいは国際・文化交流活動を3年以上経験していること。

※ 出願資格審査

上記(9)又は(10)に該当する者は、個別の出願資格審査を行うので、人文社会科学系事務部学務課(人間環境学府担当)へ予め申し出て、次の書類を11月24日(木)までに人文社会科学系事務部学務課(人間環境学府担当)宛提出すること。なお、資格審査の結果は12月5日(月)に本人あて発送する。

(イ)出願資格審査申請書	本学府所定の様式
(ロ)入学願書・履歴書	本学府所定の様式
(ハ)最終学校の成績証明書又は所属機関の紹介状	本学府所定の様式
(ニ)卒業証明書	最終学校のもの
(ホ)追加出願書類	コース指定のもの

3. 願書受付期間

令和4年12月21日(水)から令和4年12月28日(水)午後5時まで
(土日祝日は受け付けない。なお、郵送の場合も12月28日(水)午後5時までに必着すること。)

※以下の専攻・コースへの出願者は、あらかじめ指導を希望する教員と相談の上、出願すること。

- ・都市共生デザイン専攻
- ・人間共生システム専攻 臨床心理学指導・研究コース
- ・行動システム専攻 健康・スポーツ科学コース
- ・教育システム専攻 (相談を推奨)
- ・空間システム専攻

4. 出願書類

志願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に九州大学人文社会科学系事務部学務課(人間環境学府担当)宛提出すること。
※書類は全て原本を提出すること。(TOEIC、TOEFLの原本は確認後に返却する。)

<専攻・コース共通>

- (1) 入学願書、履歴書及び受験票・照合票(本学府所定の様式を使用すること。なお、入学願書及び照合票貼付用写真は出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽のものを使用すること。)
- (2) 最終学校の成績証明書又は所属機関の紹介状(本学府所定の様式を使用すること。)
- (3) 最終学校の卒業証明書
- (4) 学士の学位授与証明書(出願資格(2) 又は(6)に該当する者のみ提出すること。)
- (5) 入学検定料 30,000円(19頁「入学検定料の支払い」について参照)
・出願書類受理後の検定料の払い戻しはできない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については返還を行う。
- (6) 受験票返送用封筒 1通
宛名、住所等を明記した返信用封筒封筒(長形3号(12センチ×23.5センチ))に郵便切手354円(速達)を貼付すること。
- (7) 住所票 本学府所定の様式に志願者の志望専攻・コース、住所、氏名を記入すること。

<専攻・コース別>

専攻	コース	追加出願書類
都市共生デザイン専攻	アーバンデザイン学コース	TOEICまたはTOEFLの成績証明書 ※1 ・ 出願締切日から遡って2年以内(2020年12月29日以降)に受験したもの。 研究計画書 (本学府所定の様式を使用し、3,000字以内とする。心理学領域志願者のみ提出) 本学府修士課程入学後の研究計画について提出すること。 卒業論文又はその梗概 卒業論文がない場合はこの限りではない。又、卒業論文以外の研究業績がある者は、その論文等を併せて提出することができる。
	都市災害管理学コース	
人間共生システム専攻	臨床心理学指導・研究コース	TOEICまたはTOEFLの成績証明書 ※1 ・ 出願締切日から遡って2年以内(2020年12月29日以降)に受験したもの。 論文 ① 卒業論文又はその写しを提出すること。 なお、卒業論文がない場合はこの限りではない。 ② ①以外の研究業績のある者は、その論文等を併せて提出すること。 なお、この場合の論文等は志望専攻に関する内容のものであること。 研究経過報告書 (本学府所定の様式を使用し、2,000字以内とする。) ① 卒業論文を作成した者は卒業論文の概要及び現在進めている研究があれば、その概要と経過についても併せて提出すること。 ② 卒業論文がない場合は在学中の研究及び現在進めている研究の概要と経過について提出すること。 志願理由・研究計画書 (本学府所定の様式を使用し、3,000字以内とする。) 本コースへの志願理由及び入学後の研究計画について提出すること。 心理臨床経歴証明書もしくは在職証明書 (本学府所定の様式により、官公署その他民間会社等代表者発行のもの。)
行動システム専攻	健康・スポーツ科学コース	研究経過報告書 (本学府指定の様式を使用し、2,000字以内とする。) 現在進めている研究があれば、その概要と経過についても併せて提出すること。 研究計画書 (本学府所定の様式を使用し3,000字以内とする。) 本学府修士課程入学後の研究計画について提出すること。 卒業論文以外の研究実績 卒業論文以外の研究業績がある者は、その論文等を提出することができる。
教育システム専攻	現代教育実践システムコース	教育・研究及び社会活動等調書 (本学府指定の様式を使用すること。) 著書、論文、研究報告、教育歴、社会活動歴、その他特記事項について記入すること。 また、これまで進めてきた研究あるいは現在進めている研究があればその概要と経過について記入すること。 著書、論文、研究報告等の研究業績のある者は、その実物又はその写しを併せて提出すること。なお、著書に卒業論文を含めてもよい。 研究計画書 (本学府所定の様式を使用し、日本語の場合は3,000字以内、英語の場合は1,500語以内とする。) 本学府修士課程入学後の研究計画について提出すること。 ※新型コロナウイルス感染症に関する状況により、出願書類を全てPDFで提出を求められることがあるので準備しておくこと。
空間システム専攻	建築計画学コース	TOEICまたはTOEFLの成績証明書 ※1 ・ 出願締切日から遡って2年以内(2020年12月29日以降)に受験したもの。 研究計画書 (本学府所定の様式を使用し、3,000字以内とする) 本学府修士課程入学後の研究計画について提出すること。 卒業論文又はその梗概 卒業論文がない場合はこの限りではない。又、卒業論文以外の研究業績がある者は、その論文等を併せて提出することができる。
	建築環境学コース	
	建築構造学コース	

※1 都市共生デザイン専攻、空間システム専攻、人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コースの英語資格試験 (TOEIC、TOEFL) について

TOEIC公開テスト (TOEIC Listening & Reading Test)、TOEFL-iBTのいずれかを事前に受験しておくこと。

・成績証明書とは、TOEICのOfficial Score Certificate (公式認定証)、TOEFLのOfficial Score Report (公式スコアレポート)を指す。

・成績証明書は、顔写真付きのものとする。

・以下のスコアは認められない。

TOEIC IP、カレッジTOEIC、TOEFL ITPなどの団体受験制度によるもの

TOEIC Speaking & Writing Test、TOEIC Speaking Test、TOEIC Writing Test、TOEIC Bridge Testによるもの

5. 入学考査方法

入学者の選抜は、学力試験と出願書類等を総合して判定する。

(1) 学力試験は、筆記試験及び口述試験によって行う。筆記試験は、外国語科目及び専門科目について行う。

ただし、空間システム専攻については、書類審査と口述試験とし、筆記試験は行わない。

(2) 筆記試験科目

専攻	コース	試験科目	
		外国語	専門科目
都市共生デザイン専攻	アーバンデザイン学コース	英語 ※1	小論文(アーバンデザイン学)
	都市災害管理学コース		小論文(都市災害管理学)
人間共生システム専攻	臨床心理学指導・研究コース	英語 ※1	臨床心理学、心理学及び臨床心理学研究法に関する専門科目
行動システム専攻	健康・スポーツ科学コース	英語(辞書の持込可) ※2	選択科目(運動・スポーツ心理学系、スポーツ文化・社会学系、運動生理・生化学系、運動疫学・処方系のうち1科目を出願時に選択)
教育システム専攻	現代教育実践システムコース	行わない	(1)教育学に関する共通科目 (2)専門科目(教育行政学、教育工学(教授ストラテジー論)、教育工学(学習環境デザイン論・協調学習論)、教育方法学、社会教育学、教育デザイン論、教育環境学、教育動態論、教育共生論、比較教育学(比較国際教育学)、比較教育学(比較教育制度論)、比較教育学(比較教育文化論)、教育哲学、教育社会史、教育文化史、教育社会学、異文化間教育論から1科目を出願時に選択)
空間システム専攻	建築計画学コース	英語 ※1	行わない
	建築環境学コース		
	建築構造学コース		

※1 都市共生デザイン専攻、人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コース及び空間システム専攻については、英語はTOEICまたはTOEFLの得点で成績評価を行う。

※2 電子辞書の持込は不可とする。

(3)口述試験

提出された論文等の出願書類及び専攻の分野等について行う。

※ 都市共生デザイン専攻、空間システム専攻、人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コース及び教育システム専攻現代教育実践システムコースについては以下のとおりとする。

・都市共生デザイン専攻、空間システム専攻

ア. これまでの研究内容及び今後の研究計画に関する資料を、A4用紙4枚以内で作成し、口述試験当日に持参すること。なお、都市共生デザイン専攻では10部、空間システム専攻では11部を準備すること。

イ. 口述試験の説明においては、既設のパソコン(OS:Windows)および液晶プロジェクターを使用することもできる。ただし、パソコンの利用にあたっては説明用のパワーポイントのデータをCD-RまたはUSBフラッシュメモリーにコピーし持参すること。あるいは、各自のノートパソコンを持参しても構わない。

・人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コース

ア. 研究経過及び研究計画に関する説明資料を、A4用紙3枚以内で10部準備し、全ての資料に受験番号と氏名を記して口述試験当日に持参すること。この説明資料は追加出願書類の研究経過報告書、志望理由・研究計画書等の単なる補足資料ではない。これによって、研究経過、志望理由・研究計画の全貌がわかるようにすること。

また、この資料も審査の対象となるのでそのことに留意して作成すること。

イ. 口述試験の受験資格者数は、定員の約3倍までとする。

ウ. 口述試験の受験資格者については、筆記試験当日(2月4日(土)午後7時頃)に本学のホームページに掲載する。また、口述試験当日(2月5日(日)午前8時半頃)に人文社会科学系合同掲示板(イースト1号館前)に掲示する。

・教育システム専攻現代教育実践システムコース

ア. 「研究計画書」、「教育・研究及び社会活動等調書」及び専攻の分野について行うので、必ず持参すること。

イ. 口述試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後30分以内に限り、受験を認める。

6. 試験日時及び試験場

下記「入学考査日程(社会人特別選抜)」を参照すること。

7. 合格者発表

合格者の受験番号を、令和5年2月13日(月)午前10時に【人文社会科学系合同掲示板(イースト1号館前)】に掲示するとともに、合格者については合格通知書を本人宛発送する。

また、本学府のホームページにも同日午前11時頃合格者の受験番号を掲載する。

URL: <http://www.hues.kyushu-u.ac.jp/>

なお、電話等による照会には一切応じない。

入学考査日程(社会人特別選抜)

都市共生デザイン専攻

試験科目	実施日	試験時間	試験場
筆記試験(専門科目)	令和5年2月4日(土)	9:30~12:30	九州大学伊都キャンパスイーストゾーン
口述試験		13:00~	

人間共生システム専攻(臨床心理学指導・研究コース)

試験科目	実施日	試験時間	試験場
筆記試験(専門科目)	令和5年2月4日(土)	9:30~11:30	九州大学伊都キャンパスイーストゾーン
口述試験	令和5年2月5日(日)	9:00~ ※	

※ 口述試験は16時頃までかかる場合がある。

行動システム専攻(健康・スポーツ科学コース)

試験科目	実施日	試験時間	試験場
筆記試験(外国語)	令和5年2月4日(土)	9:30~11:30	九州大学伊都キャンパスイーストゾーン
筆記試験(専門科目)		12:30~13:30	
口述試験	令和5年2月5日(日)	9:30~	

教育システム専攻(現代教育実践システムコース)

試験科目	実施日	試験時間	試験場
筆記試験(専門科目)	令和5年2月4日(土)	9:30~12:00	九州大学伊都キャンパスイーストゾーン
口述試験		13:30~	

空間システム専攻

試験科目	実施日	試験時間	試験場
口述試験	令和5年2月4日(土)	13:00~	九州大学伊都キャンパスイーストゾーン

令和5年度4月入学 九州大学大学院 人間環境学府 修士課程(外国人留学生特別選抜・冬季募集)学生募集要項

1. 募集専攻及び募集人員

専攻	コース	募集人員
都市共生デザイン専攻	アーバンデザイン学コース	12名
	都市災害管理学コース	
	持続都市建築システム国際コース ※1	
人間共生システム専攻	臨床心理学指導・研究コース※3※4	
	共生社会学コース ※2	
行動システム専攻	心理学コース	
	健康・スポーツ科学コース	
教育システム専攻	現代教育実践システムコース	
	総合人間形成システムコース	
空間システム専攻	建築計画学コース	
	建築環境学コース	
	建築構造学コース	
	持続都市建築システム国際コース ※1	

※1 都市共生デザイン専攻及び空間システム専攻持続都市建築システム国際コースについては、別途募集する。

※2 人間共生システム専攻共生社会学コースについては、一般選抜を受験すること。

※3 臨床心理学指導・研究コースは、「臨床心理士」受験資格に関する第1種指定を受けている。

※4 大学(学部)等において必要な科目を修めて卒業した者は、臨床心理学指導・研究コースにおいて必要な科目を修めて修了することで「公認心理師」の受験資格が得られる。

2. 出願資格

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者

(1)外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和5年3月末までに修了見込みの者

(2)外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和5年3月末までに授与される見込みの者

(3)本学府において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者 ※

※ 日本の大学を卒業(見込み)した者は、外国人留学生特別選抜の対象とならないので一般選抜を受験すること。

※ 上記 (3)による出願者は、個別の出願資格審査を行うので、人文社会科学系事務部学務課(人間環境学府担当)へあらかじめ問い合わせのうえ、11月24日(木)までに指示された書類を提出すること。

なお、資格審査の結果は12月5日(月)に本人あて発送する。

3. 願書受付期間

令和4年12月21日(水)から令和4年12月28日(水)午後5時まで

(土日祝日は受け付けない。なお、郵送の場合も12月28日(水)午後5時までに必着すること。)

※以下の専攻・コースへの出願者は、あらかじめ指導を希望する教員と相談の上、出願すること。

- ・都市共生デザイン専攻
- ・人間共生システム専攻 臨床心理学指導・研究コース
- ・人間共生システム専攻 共生社会学コース
- ・行動システム専攻 健康・スポーツ科学コース
- ・教育システム専攻 (相談を推奨)

4. 出願書類

志願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に人文社会科学系事務部学務課(人間環境学府担当)宛提出すること。
 ※書類は全て原本を提出すること。(原本は確認後に返却する。)

<専攻・コース共通>

- (1) 入学願書、履歴書及び受験票・照合票(本学府所定の様式を使用すること。なお、入学願書及び照合票貼付用写真は出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽のものを使用すること。)
- (2) 最終学校の成績証明書及び卒業(見込)証明書(英訳又は和訳を添付すること。)
- (3) 学士の学位授与証明書又は学士の学位授与申請予定証明書(出願資格(2)に該当する者のみ提出すること。)
- (4) 入学検定料 30,000円(19頁「入学検定料の支払いについて」参照)
 - ・ 日本政府(文部科学省)国費留学生は不要。出願の際、必ず国費留学生証明書を同封すること(本学在学中の国費留学生は不要)。
 - ・ 出願書類受理後の検定料の払い戻しはできない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については返還を行う。
- (5) 受験票返送用封筒 1通
宛名、住所等を明記した返信用封筒封筒(長形3号(12センチ×23.5センチ))に郵便切手354円(速達)を貼付すること。
- (6) 住所票 本学府所定の様式に志願者の志望専攻・コース、住所、氏名を記入すること。

<専攻・コース別>

専攻	コース	追加出願書類
都市共生デザイン専攻	アーバンデザイン学コース	特になし。ただし、心理学領域(生涯発達心理学)志望者のみ下記を必要とする。 研究計画書 (本学府所定の様式を使用し、日本語の場合は3,000字以内、英語の場合は1,500語以内とする。) 本学府修士課程入学後の研究計画について提出すること。
	都市災害管理学コース	
人間共生システム専攻	臨床心理学指導・研究コース	論文 ① 卒業論文又はその写しを提出すること。 なお、卒業論文がない場合はこの限りでない。 ② ①以外の研究業績のある者は、その論文等を併せて提出すること。 なお、この場合の論文等は志望専攻に関する内容のものであること。 研究経過報告書 (本学府所定の様式を使用し、2,000字以内とする。) ① 卒業論文を作成した者は卒業論文の概要及び現在進めている研究があれば、その概要と経過についても併せて提出すること。 ② 卒業論文がない場合は在学中の研究及び現在進めている研究の概要と経過について提出すること。 志望理由・研究計画書 (本学府所定の様式を使用し、3,000字以内とする。) 本コースへの志望理由及び入学後の研究計画について提出すること。 TOEIC (Listening & Reading Test, L&R)またはTOEFLの成績証明書 ※1 出願締切日から遡って2年以内(2020年12月29日以降)に受験したものの。
行動システム専攻	心理学コース	研究経過報告書 (本学府所定の様式を使用し2,000字以内とする。) ① 卒業論文を作成した者は卒業論文の概要及び現在進めている研究があれば、その概要と経過についても併せて提出すること。 ② 卒業論文がない場合は在学中の研究及び現在進めている研究の概要と経過について提出すること。 研究計画書 (本学府所定の様式を使用し3,000字以内とする。) 本学府修士課程入学後の研究計画について提出すること。 論文 ① 卒業論文又はその写しを提出すること。なお、卒業論文がない場合はこの限りでない。 ② ①以外の研究業績のある者は、その論文等を併せて提出すること。 なお、この場合の論文等は志望専攻に関する内容のものであること。 TOEIC(Listening & Reading Test, L&R) またはTOEFLの成績証明書 ① 出願締切日から遡って2年以内(2020年12月29日以降)に受験したものの。 ② TOEIC(L&R)-IP及びTOEFL-ITP等の団体特別受験制度による成績証明書も利用できる。 日本語能力についての証明書 外務省又は在外公館の指定する機関又はそれに代わるものが発行したものであることを原則とする。

	健康・スポーツ科学コース	<p>研究経過報告書(本学府所定の様式を使用し2,000字以内とする。)</p> <p>① 卒業論文を作成した者は卒業論文の概要及び現在進めている研究があれば、その概要と経過についても併せて提出すること。</p> <p>② 卒業論文がない場合は在学中の研究及び現在進めている研究の概要と経過について提出すること。</p> <p>研究計画書(本学府所定の様式を使用し3,000字以内とする。)</p> <p>本学府修士課程入学後の研究計画について提出すること。</p> <p>論文</p> <p>卒業論文以外の研究業績がある者は、その論文等を提出することができる。</p> <p>なお、この場合の論文等は志望専攻に関する内容のものであること。</p>
教育システム専攻	現代教育実践システムコース	<p>研究経過報告書(本学府所定の様式を使用し、日本語の場合は2,000字以内、英語の場合は1,000語以内とする。)</p> <p>① 卒業論文を作成した者は卒業論文の概要及び現在進めている研究があれば、その概要と経過についても併せて提出すること。</p> <p>② 卒業論文がない場合は在学中の研究及び現在進めている研究の概要と経過について提出すること。</p> <p>研究計画書(本学府所定の様式を使用し、日本語の場合は3,000字以内、英語の場合は1,500語以内とする。)</p> <p>本学府修士課程に入学後の研究計画について提出すること。</p> <p>論文</p> <p>① 卒業論文又はその写しを提出すること。なお、卒業論文がない場合はこの限りでない。</p> <p>② ①以外の研究業績のある者は、その論文等を併せて提出することができる。</p> <p>なお、この場合の論文等は志望専攻に関する内容のものであること。</p> <p>外国語能力についての証明書(①又は②、及び必要に応じて③の書類を提出すること) ※2 (以下、提出すべき各種証明書類については、国際コース設置までの経過措置)</p> <p>① TOEIC(TOEIC Listening & Reading Test, L&R)またはTOEFLの成績証明書 (i)出願締切日から遡って2年以内(2020年12月29日以降)に受験したもの。 (ii) TOEIC(L&R)-IP及びTOEFL-ITP等の団体特別受験制度による成績証明書も利用できる。</p> <p>② 高等教育機関において、英語を学習言語としていた場合、①の提出が免除される代わりに、 (i) および(ii)の書類を提出すること。 (i) 「学習言語としての英語」の証明書(Certificate of English as a Medium of Instruction)に相当するもの (ii) 以下の外国語能力について検定試験の成績証明書(日本語能力試験、フランス語資格試験DELF/DALF、フランス語能力テストTCF(Test de Connaissance du Français, TCF-SC及びTCF-DATを含む)、実用フランス語技能検定試験(仏検)、ゲーテ・インスティトゥート検定試験、TestDaF(Test Deutsch als Fremdsprache)、オーストリア政府公認ドイツ語検定試験(ÖSD)、大学入学ドイツ語試験(DSH: Deutsche Sprachprüfung für den Hochschulzugang)、Telc Deutsch(The European Language Certificates Deutsch)、ドイツ語技能検定試験(独検)、ロシア語検定試験ТРКИ、HSK漢語水平考試、韓国語能力試験TOPIKなど、主として政府機関が実施・認定している検定試験に限る)。 a) 出願締切日から遡って2年以内に受験したもの。 b) 外国語能力を証明する書類であり、母語やそれに準ずる言語での成績証明書の提出は認めない。</p> <p>③ 日本語能力試験の成績証明書(試験の解答言語で「英語」を選択する場合、提出を免除する。但し、参考までの提出は妨げない。)</p> <p>・出願締切日から遡って2年以内(2020年12月29日以降)に受験したもの。</p>
	総合人間形成システムコース	
空間システム専攻	建築計画学コース 建築環境学コース 建築構造学コース	特になし

※1 人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コースの英語資格試験(TOEIC、TOEFL)について

TOEIC公開テスト(TOEIC Listening & Reading Test)、TOEFL-iBTのいずれかを事前に受験しておくこと。

・成績証明書とは、TOEICのOfficial Score Certificate(公式認定証)、TOEFLのOfficial Score Report(公式スコアレポート)を指す。

・成績証明書は、顔写真付きのものとする。

・以下のスコアは認められない。

TOEIC IP、カレッジTOEIC、TOEFL ITPなどの団体受験制度によるもの

TOEIC Speaking & Writing Test、TOEIC Speaking Test、TOEIC Writing Test、TOEIC Bridge Testによるもの

※2 試験の解答言語で「英語」を選択しない場合(「日本語」を選択した場合)は、③の書類を必ず提出すること。

5. 入学考査方法

入学者の選抜は、学力試験と出願書類等を総合して判定する。

(1) 学力試験は、筆記試験及び口述試験によって行う。筆記試験は、外国語科目及び専門科目について行う。

(2) 筆記試験科目

専攻	コース	試験科目	
		外国語	専門科目
都市共生デザイン専攻	アーバンデザイン学コース	英語及び日本語	建築学志望者は、建築学 心理学領域(生涯発達心理学)志望者は、(1)心理学(心理学研究法を含む) (2)生涯発達心理学
	都市災害管理学コース		
人間共生システム専攻	臨床心理学指導・研究コース	英語 ※1	(1) 心理学 (2) 臨床心理学
行動システム専攻	心理学コース	英語 ※1	行わない
	健康・スポーツ科学コース	英語 (辞書の持込可) ※2	(1) 健康・スポーツ科学コース共通科目 (2) 選択科目(運動・スポーツ心理学系、スポーツ文化・社会学系、運動生理・生化学系、運動疫学・処方系のうち1科目を出願時に選択)
教育システム専攻	現代教育実践システムコース	外国語 ※3	(1) 教育学に関する共通科目 (2) 専門科目(教育行政学、教育工学(教授ストラテジー論)、教育工学(学習環境デザイン論・協調学習論)、教育方法学、社会教育学、教育デザイン論、教育環境学、教育動態論、教育共生論から1科目を出願時に選択)
	総合人間形成システムコース		(1) 教育学に関する共通科目 (2) 専門科目(比較教育学(比較国際教育学)、比較教育学(比較教育制度論)、比較教育学(比較教育文化論)、教育哲学、教育社会史、教育文化史、教育社会学、異文化間教育論から1科目を出願時に選択)
空間システム専攻	建築計画学コース	英語及び日本語	建築学
	建築環境学コース		
	建築構造学コース		

※1 人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コース、行動システム専攻心理学コースについては、英語はTOEICまたはTOEFLの得点で成績評価を行う。

※2 電子辞書の持込は不可とする。

※3 英語はTOEIC又は TOEFLの得点で成績評価を行う。ただし、

- (1) 試験の解答言語として、「日本語」を選択した場合、外国語はTOEIC又は TOEFLの得点と日本語能力試験の得点を加味して、成績評価を行う。
- (2) 高等教育機関において、「英語」を学習言語としていた場合、外国語能力検定試験(主として政府機関が実施・認定している検定試験に限る)の得点で成績評価を行う。

(3) 口述試験

提出された論文等の出願書類及び専攻の分野等について行う。

※ 都市共生デザイン専攻、空間システム専攻、人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コース、行動システム専攻心理学コース及び教育システム専攻については以下のとおりとする。

・都市共生デザイン専攻、空間システム専攻

- ア. 口述試験において、追加資料は持ち込めない。
- イ. OHPや液晶プロジェクター等の機器の使用は認めない。

・人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コース

- ア. 研究経過及び研究計画に関する説明資料を、A4用紙3枚以内で10部準備し、全ての資料に受験番号と氏名を記して口述試験当日に持参すること。この説明資料は追加出願書類の研究経過報告書、志望理由・研究計画書等の単なる補足資料ではない。これによって、研究経過、志望理由・研究計画の全貌がわかるようにすること。

また、この資料も審査の対象となるのでそのことに留意して作成すること。

イ. 口述試験の受験資格者数は、定員の約3倍までとする。

ウ. 口述試験の受験資格者については、筆記試験当日(2月4日(土)午後7時頃)に本学のホームページに掲載する。また、口述試験当日(2月5日(日)午前8時半頃)に人文社会科学系合同掲示板(イースト1号館前)に掲示する。

・行動システム専攻心理学コース

ア. 追加出願書類にもとづく審査を行ったうえで、その内容についての質疑応答を面接形式で行う。志願者は、これまでの研究が高い意義を持つことを的確な自己評価のもとに論じ、今後の研究への明確な展望を提示しなくてはならない。書類審査及び口述での応答と今後の研究の展望について、主に審査する。

イ. 研究経過及び研究計画に関する説明資料を、A4用紙4枚以内で12部準備し口述試験当日に持参すること。この説明資料は追加出願書類の研究経過報告書、研究計画書等の単なる補足資料ではない。これによって、研究経過、研究計画の全貌がわかるようにすること。また、この資料も審査の対象となるので、そのことに留意して作成すること。

ウ. 研究経過及び研究計画の説明においては、既設のパソコン(OS:Windows)および液晶プロジェクターを使用することも可能である。ただし、パソコンの利用にあたっては説明用のパワーポイントのデータをUSBフラッシュメモリーにコピーし持参すること。

・教育システム専攻

ア. 研究経過報告書、研究計画書にもとづいて行う。必ず持参すること。

イ. 口述試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後30分以内に限り、受験を認める。

6. 試験日時及び試験場

18頁「入学考査日程(外国人留学生特別選抜)」を参照すること。

7. 合格者発表

合格者の受験番号を、令和5年2月13日(月)午前10時に【人文社会科学系合同掲示板(イースト1号館前)】に掲示するとともに、合格者については合格通知書を本人宛発送する。

また、本学府のホームページにも同日午前11時頃合格者の受験番号を掲載する。

URL:<http://www.hues.kyushu-u.ac.jp/>

なお、電話等による照会には一切応じない。

入学考査日程（外国人留学生特別選抜）

都市共生デザイン専攻及び空間システム専攻

試験科目	実施日	試験時間	試験場
筆記試験(専門科目)	令和5年2月4日(土)	9:30～11:00	九州大学伊都キャンパスイーストゾーン
筆記試験(外国語)		11:00～ 12:20	
口述試験		13:00～	

人間共生システム専攻(臨床心理学指導・研究コース)

試験科目	実施日	試験時間	試験場
筆記試験(専門科目)	令和5年2月4日(土)	9:30～11:30	九州大学伊都キャンパスイーストゾーン
口述試験	令和5年2月5日(日)	9:00～ ※1	

※1口述試験は16時頃までかかる場合がある。

行動システム専攻(心理学コース)

試験科目	実施日	試験時間	試験場
口述試験	令和5年2月4日(土)	10:00～	九州大学伊都キャンパスイーストゾーン ※2

※2新型コロナウイルス感染症に関する状況に応じて、オンライン実施に変更する可能性がある。

行動システム専攻(健康・スポーツ科学コース)

試験科目	実施日	試験時間	試験場
筆記試験(外国語)	令和5年2月4日(土)	9:30～11:30	九州大学伊都キャンパスイーストゾーン
筆記試験(専門科目)		12:30～15:00※3	
口述試験	令和5年2月5日(日)	9:30～	

※3専門科目の試験は、選択科目 12:30～13:30、共通科目 14:00～15:00とする。なお、試験と試験の合間は休憩時間とする。

教育システム専攻

試験科目	実施日	試験時間	試験場
筆記試験(専門科目)	令和5年2月4日(土)	9:30～12:00	九州大学伊都キャンパスイーストゾーン
口述試験	令和5年2月5日(日)	9:30～	

〈各選抜共通〉

○ 入学検定料の支払いについて

入学検定料については、e-支払いサイト(<https://e-shiharai.net/>)へ事前申込のうえ、①コンビニエンスストア支払い、又は②クレジットカード支払い・Alipay国際決済・銀聯網決済により納付すること(日本国外からの支払いの場合は、②クレジットカード支払い・Alipay国際決済・銀聯網決済のみ)。

21頁の「九州大学コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料払込方法」を参照し、支払手続を行うこと(払込手数料は、志願者が負担することとなる)。

支払期間 : 令和4年12月14日(水)～令和4年12月28日(水)

① コンビニエンスストア支払い

支払後、コンビニエンスストアで受領した「入学検定料・選考料・取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学願書の所定の位置に貼り付けること。

② クレジットカード支払い・Alipay国際決済・銀聯網決済

支払後、プリントアウトした「照会結果」を、出願書類と共に提出すること。

(注意)

○日本国外からの支払いは、クレジットカード支払い・Alipay国際決済・銀聯網決済のみ可能。

○e-支払いサイトにおける手順等に関する質問については、同サイト上のよくある質問(<https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html>)を参照したうえで、イーサービスサポートセンターへ問い合わせること。

○ 長期履修学生制度について

人間環境学府では学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、本学府教授会の定めるところにより、その計画的な履修が認められる。

この制度により、長期履修学生が修了するまで、1年間に収める授業料の額は、標準修業年限(2年)分の授業料を、計画的に履修することを認められた一定の期間の年数(3年又は4年)で除した額となる。

○ 入学手続きについて

入学手続き書類は、令和5年2月下旬に送付するので、所定の期日までに入学手続きを完了すること。

(1) 入学手続き期間

令和5年3月上旬から3月中旬までの予定

(2) 入学手続きの際に納付する経費

① 入学料 282,000円(予定)

② 授業料 267,900円[年額535,800円](予定)

(注)上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。なお、授業料については、入学後に徴収する。

○ 個人情報の利用について

- (1) 出願書類に記載された個人情報は、入学者選抜で利用するほか、住所・氏名を合格者に対する入学手続の案内業務に利用します。
- (2) 出願書類に記載された個人情報は、入学者選抜後本学府への入学を許可された者について、学籍関係業務等に利用します。
- (3) 入学者選抜試験の成績及びその他の個人情報は、1年次における奨学生への推薦資料並びに入学料免除及び授業料免除等の選考資料として利用します。
- (4) 入学者選抜試験で利用した個人情報は、個人が特定できない形で、本学における入学者選抜に関する調査・研究資料として利用します。
- (5) 出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜試験の結果等の個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、以上の目的以外の目的で利用すること又は第三者に提供されることはありません。
- (6) 個人情報の取り扱いについては、あらかじめ以下のWebページを確認してください。

<http://www.kyushu-u.ac.jp/en/website/privacypolicy>

○ 注意事項

(1) 願書等の提出書類の様式は、九州大学大学院人間環境学府HP大学院学生募集要項(<https://www.hues.kyushu-u.ac.jp/education/admission/application.html>)で配布する様式をダウンロードして使用すること。なお、印刷する際には片面印刷とすること。(2) 出願書類を郵

送で提出する場合は、A4サイズ(角形2号)の封筒に「封筒貼付用宛名ラベル」を貼付の上、必ず書留郵便で送付すること。

- (3) 出願手続き後は出願事項の変更は認めない。
- (4) 試験当日は、受験票を忘れずに持参すること。
- (5) 筆記試験の際は、試験開始時刻20分前までに試験室に入室しておくこと。
- (6) 筆記試験においては開始時刻に遅刻した場合は、原則として試験開始時刻後30分以内に限り、受験を認める。
- (7) 口述試験については、各専攻・コース毎に遅刻限度を通知する。

○ 過去の入試問題請求方法について

過去3年分の入試問題を公開する。

詳しくは、人間環境学府HP入試案内 <http://www.hues.kyushu-u.ac.jp/education/admission/examination.html> を参照すること。

○ 障害等のある志願者の事前相談等

障害等のある志願者は、本学府において受験上及び修学上の配慮を行う場合があるので、出願に当たっては下記により相談すること。

① 相談の時期

令和4年12月1日(木)まで。

ただし、期限後に不慮の事故等により受験上及び修学上の配慮を希望することとなった場合は、その際相談すること。

② 相談の方法

あらかじめ人文社会科学系事務部学務課(人間環境学府担当)に連絡の上、相談申請書(本学府所定様式)に、医師の診断書(本学府所定様式)を添え提出すること。

③ 相談及び連絡先

〒819-0395 福岡市西区元岡744

九州大学人文社会科学系事務部学務課(人間環境学府担当)

電話:092-802-6362(ダイヤルイン)

○ 問い合わせ先

専攻	コース	問い合わせ先
都市共生デザイン専攻	アーバンデザイン学コース	〒819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学人文社会科学系事務部学務課 (人間環境学府担当) 電話:092-802-6362(ダイヤルイン)
	都市災害管理学コース	
	持続都市建築システム国際コース	
人間共生システム専攻	臨床心理学指導・研究コース	
	共生社会学コース	
行動システム専攻	心理学コース	
	健康・スポーツ科学コース	
教育システム専攻	現代教育実践システムコース ※	
	総合人間形成システムコース	
空間システム専攻	建築計画学コース	
	建築環境学コース	
	建築構造学コース	
	持続都市建築システム国際コース	

※教育システム専攻社会人特別選抜志願者で、教育内容、受験資格及び修学方法について問い合わせをする際は、社会人教育企画室(TEL:092-802-5212)に問い合わせること。

※ アドミッションポリシー及び教員研究紹介は九州大学大学院人間環境学府ホームページの学生募集要項のページを参照すること。

URL: <http://www.hues.kyushu-u.ac.jp/>